

大迫尚敏関係文書目録

2023年11月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」

(<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/jp/index.html/>)

凡例

- 卷子本（計8巻）中の書簡については、貼り込まれている順番通りに配列した。
- 標題・年月日のうち、目録作成者が補った部分には〔 〕を付した。
- 書簡については1通毎に主な内容を記したが、原文を引用したものではなく、内容の摘記である。
- 検索の便をはかるため、本目録の末尾に、書簡の差出人による索引を付した。

本目録（資料番号10を除く）は佐々木隆氏（聖心女子大学教授、元国立国会図書館客員調査員）が作成した。

参考資料として、資料番号1～8の翻刻筆記（番外、佐々木隆氏作成）が国立国会図書館憲政資料室で利用可能である。

目次

大迫尚敏關係文書

- └ 2015年公開分
- └ 2020年追加公開分

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|-----------------|-----------------------------|------|------|--------------|--|----|
| 2015年公開分 | | | | | | |
| 1 | 卷子本 島津忠義公、毛利元徳公、広沢兵助、西郷隆盛各書 | | | | 数量 1巻 合綴注記 1-1~4はこの中にあり | あり |
| 1-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 1-1 | 〔島津忠義書簡〕 | 島津忠義 | 大迫尚敏 | 〔慶應3年11月〕 | 数量 1通 内容 勅情奉戴、無理に陥る可らず。機客四方に露頭の由、深く廟議に入念の事 記述法 墨書 備考 複製カ | あり |
| 1-2 | 〔毛利元徳書簡〕 | 毛利元徳 | 大迫尚敏 | 〔慶應3年11月〕 | 数量 1通 内容 至尊守護に手筈を尽す可し、此度の義は皇国の一大事 記述法 墨書 備考 複製カ | あり |
| 1-3 | 〔広沢真臣書簡〕 | 広沢真臣 | 大迫尚敏 | 〔慶應3年11月〕 | 数量 1通 内容 薩長芸三藩は浪花を根拠とし薩二小隊に長芸より加勢、薩侯21日着藩。○〔天皇〕は山崎より西之宮へ脱出、芸州に至るへき事 記述法 墨書 | あり |
| 1-4 | 〔西郷隆盛書簡〕 | 西郷隆盛 | 黒田清綱 | 〔慶應3年〕11月27日 | 数量 1通 内容 三田尻にて別紙の通談判、約定成る、○とは玉の事なり 記述法 墨書 備考 1-1~3は本書簡の別紙に当たるものカ | あり |
| 2 | 卷子本 大山公爵書簡 | | | | 数量 1巻 合綴注記 2-1~5はこの中にあり | あり |
| 2-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 2-1 | 〔大山巖書簡〕 | 大山巖 | 大迫尚敏 | 1月27日 | 数量 1通 内容 原田氏一件に付御序の折御立寄を願う 記述法 墨書 | あり |
| 2-2 | 〔大山巖書簡〕 | 大山巖 | 樺山資紀 | 5月23日 | 数量 1通 内容 弾薬今朝到来、御希望の数を分与せん 記述法 墨書 | あり |
| 2-3 | 〔大山巖書簡〕 | 大山巖 | 大迫尚敏 | 〔明治33年〕7月16日 | 数量 1通 内容 清国事変に付第5師団全部派遣となる、7月14日天津占領の報あり、参本も夏休みどころにはなし 記述法 墨書 | あり |
| 2-4 | 〔大山巖書簡〕 | 大山巖 | 大迫尚敏 | 8月11日 | 数量 1通 内容 8月13日晚餐差上げたし 記述法 墨書 | あり |

大迫尚敏関係文書目録

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|------|------------|------|------|--------------|---|----|
| 2-5 | 〔大山巖書簡〕 | 大山巖 | 大迫尚敏 | 〔大正元年〕10月22日 | 数量 1通 内容 渡辺宮相、乃木大将後任の学習院長に貴兄を所望、願くは御承諾あれ 記述法 墨書 | あり |
| 3 | 卷子本 山県公爵書簡 | | | | 数量 1巻 合綴注記 3-1～5はこの中にあり | あり |
| 3-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 3-1 | 〔山県有朋書簡〕 | 山県有朋 | 大迫尚敏 | 〔明治31年〕3月11日 | 数量 1通 内容 御約束の合天井昨夕当地〔京都〕に到着、今天井も過半出来、一日も速かに送致あり度し 記述法 墨書 | あり |
| 3-2 | 〔山県有朋書簡〕 | 山県有朋 | 大迫尚敏 | 〔明治31年〕3月11日 | 数量 1通 内容 今朝一翰呈す、書中運送時の注文を逸す 記述法 墨書 | あり |
| 3-3 | 〔山県有朋書簡〕 | 山県有朋 | 大迫尚敏 | 6月13日 | 数量 1通 内容 薩摩名産の煙草盆御恵贈深謝、明夕御来遊を乞う 記述法 墨書 | あり |
| 3-4 | 〔山県有朋書簡〕 | 山県有朋 | 大迫尚敏 | 11月28日 | 数量 1通 内容 皆て高嘯の絹本揮毫差送る 記述法 墨書 | あり |
| 3-5 | 〔山県有朋書簡〕 | 山県有朋 | 大迫尚敏 | 明治31年3月1日 | 数量 1枚 内容 封筒のみ 記述法 墨書 備考 3-5の封筒は3-1または3-2の封筒カ | あり |
| 4 | 卷子本 桂公爵書簡 | | | | 数量 1巻 合綴注記 4-1～6はこの中にあり | あり |
| 4-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 4-1 | 〔桂太郎書簡〕 | 桂太郎 | 大迫尚敏 | 〔明治33年〕7月22日 | 数量 1通 内容 北清派兵は列国に日本兵の進化を知らしむるの好時機なり。且つ列国が東北アジアに如何なる程度まで手を出し得るや試験の好機と云うべし 記述法 墨書 | あり |
| 4-2 | 〔桂太郎書簡〕 | 桂太郎 | 大迫尚敏 | 〔明治35年〕3月28日 | 数量 1通 内容 箱館鉄道補助議会通过、小生に於ても年来の志望を達す、日英同盟成立、同盟は手段にして将来は武備と国民の励精に懸る、区々の政権争ひは棚に上げ度し。 記述法 墨書 | あり |

大迫尚敏関係文書目録

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|------|-------------------------------------|------|------|--------------|---|----|
| 4-3 | 〔桂太郎書簡〕 | 桂太郎 | 大迫尚敏 | 11月18日 | 数量 1通 内容 英人プリンクリー長男の田中風涯入営、是まで洋風生活を送り来れる者として善処を申出づるも、臣民の義務に付特別扱ひは致し難し。 記述法 墨書 | あり |
| 4-4 | 〔桂太郎書簡〕 | 桂太郎 | 大迫尚敏 | 〔大正元年〕10月24日 | 数量 1通 内容 学習院長後任人撰難航、貴下に白羽の矢立つ、御地御移転中御気の毒なるも御奮発を願う 記述法 墨書 | あり |
| 4-5 | 〔桂太郎書簡〕 | 桂太郎 | 大迫尚敏 | 12月4日 | 数量 1通 内容 本日御待受の約束なりしも無抛松方伯を訪問の急用出来、御断り申上ぐ 記述法 墨書 | あり |
| 4-6 | 〔桂太郎書簡〕 | 桂太郎 | 大迫尚敏 | 大正元年10月24日 | 数量 1枚 内容 封筒のみ 記述法 墨書 備考 4-4書簡の封筒 | あり |
| 5 | 卷子本 黒田伯爵、樺山伯爵、大山公爵、川村伯爵、土方伯爵、田中少将書簡 | | | | 数量 1巻 合綴注記 5-1～11はこの中にあり | あり |
| 5-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 5-1 | 〔黒田清隆書簡〕 | 黒田清隆 | 大迫尚敏 | 明治33年6月12日 | 数量 1通 内容 永山〔武四郎〕男の近況御垂示を謝す、同人へ宜しく御伝声あれ 記述法 墨書 | あり |
| 5-2 | 〔樺山資紀書簡〕 | 樺山資紀 | 大迫尚敏 | 4月23日 | 数量 1通 内容 向ヶ岡弥生社は差し支へなし、御出向下されたし 記述法 墨書 | あり |
| 5-3 | 〔樺山資紀書簡〕 | 樺山資紀 | 大迫尚敏 | 5月23日 | 数量 1通 内容 中村義繁支那行希望、給費如何に取計らうべきや 記述法 墨書 | あり |
| 5-4 | 〔樺山資紀書簡〕 | 樺山資紀 | 大迫尚敏 | 〔明治〕9月28日 | 数量 1通 内容 花田氏より別紙到達、廻送す。島津若君、珍彦殿帰郷に付、野夫も来月15、16日出発の筈、獵期なれば内之浦に遊ぶべき心組なり 記述法 墨書 | あり |

大迫尚敏関係文書目録

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|------|--|--------|------|--------------|--|----|
| 5-5 | 〔樺山資紀書簡〕 | 樺山資紀 | 大迫尚敏 | 〔明治17年〕1月9日 | 数量 1通 内容 新春慶祝、迫水洋行同慶の至、野夫意外にも旧蠟師団に逐はる。安南事変も未定、アジア一変の端緒とならんか 記述法 墨書 | あり |
| 5-6 | 〔樺山資紀書簡〕 | 樺山資紀 | 大迫尚敏 | 〔大正〕2月13日 | 数量 1通 内容 一昨日は御光臨恐縮、〔道力〕永周介へ申付の南米航路の件、近藤〔廉平〕男に依頼に及べり 記述法 墨書 | あり |
| 5-7 | 〔大山巖・捨松書簡〕 | 大山巖・捨松 | 大迫尚敏 | 〔大正4年〕3月24日 | 数量 1通 内容 大山柏4月19日に挙式、御媒酌の儀宜しく御願申上ぐ 記述法 墨書 | あり |
| 5-8 | 〔川村純義書簡〕 | 川村純義 | 大迫尚敏 | 〔明治〕11月29日 | 数量 1通 内容 樺山明日出立の由、同人着の上は免猪狩の愉快もあらん 記述法 墨書 | あり |
| 5-9 | 〔土方久元書簡〕 | 土方久元 | 大迫尚敏 | 大正6年3月2日 | 数量 1通 内容 川崎八右衛門長男専之助、病身の為め自宅通学御配慮を乞う 記述法 墨書 | あり |
| 5-10 | 〔土方久元書簡〕 | 土方久元 | 大迫尚敏 | 大正5年2月17日 | 数量 1通 内容 次女訓子の写真送付延引申し訳なし、相手は成田正右衛門子息の由、松方病氣退陣の噂新聞に出づ、国の為鹿兒島の為に遺憾千万 記述法 墨書 | あり |
| 5-11 | 〔田中綱道書簡〕 | 田中綱道 | 大迫尚敏 | 〔明治25年〕1月29日 | 数量 1通 記述法 墨書 | あり |
| 6 | 卷子本 高島中将、野津大将、伊東大将、児玉大将、寺内大将、田村中将、永山中将書簡 | | | | 数量 1巻 合綴注記 6-1～10はこの中にあり | あり |
| 6-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 6-1 | 〔高島鞆之助書簡〕 | 高島鞆之助カ | 大迫尚敏 | 8日 | 数量 1通 内容 明九日神祭の年魚進呈、後五時御来遠筵を乞う 記述法 墨書 | あり |
| 6-2 | 〔高島鞆之助書簡〕 | 高島鞆之助カ | 大迫尚敏 | 27日 | 数量 1通 内容 御寸暇ならば御来投あれ 記述法 墨書 | あり |

大迫尚敏関係文書目録

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|------|----------------------|------------|------|---------------|--|----|
| 6-3 | 〔高島鞆之助書簡〕 | 高島鞆之助カ | 大迫尚敏 | 9日 | 数量 1通 内容 愛子より御発熱と聞く、御加養あれ。墨国の件にて関係人集会、実況承知の上閑地に赴かん 記述法 墨書 | あり |
| 6-4 | 〔野津道貫書簡〕 | 野津道貫 | 大迫尚敏 | 〔明治37年〕7月1日 | 数量 1通 内容 近衛歩兵第三聯隊士橋吉次少佐病気の為出征成らず、快気に付貴団欠員補充に御加へ下さらば幸甚 記述法 墨書 | あり |
| 6-5 | 〔伊東祐亨書簡〕 | 伊東祐亨 | 大迫尚敏 | 〔明治〕4月18日 | 数量 1通 内容 小生知人の札幌住人前原恵太郎の為に御揮毫を請ふ 記述法 墨書 | あり |
| 6-6 | 〔児玉源太郎書簡〕 | 児玉源太郎 | 大迫尚敏 | 〔明治35年〕3月27日 | 数量 1通 内容 学校維持の為一万五千円小切手にて送金、厳に秘密を願ふ 記述法 墨書 | あり |
| 6-7 | 〔寺内正毅書簡〕 | 寺内正毅 | 大迫尚敏 | 〔明治35年〕10月20日 | 数量 1通 内容 旭川将校子弟教育の学校補助基金の為に一万五千円醸出、厳に秘密を願ふ 記述法 墨書 | あり |
| 6-8 | 〔寺内正毅書簡〕 | 寺内正毅 | 大迫尚敏 | 〔明治35年〕2月19日 | 数量 1通 内容 機密費支出の件、総長認可、八百円を醸出す 記述法 墨書 | あり |
| 6-9 | 〔田村怡与造書簡〕 | 田村怡与造 | 大迫尚敏 | 〔明治35年〕2月17日 | 数量 1通 内容 御咄の件は百円を醸出す 記述法 墨書 | あり |
| 6-10 | 〔永山武四郎書簡〕 | 永山武四郎 | 大迫尚敏 | 〔明治〕1月29日 | 数量 1通 内容 御来示を謝す、北海道巡幸実現以外の願条なし 記述法 墨書 | あり |
| 6-11 | 高島鞆之助封筒 大迫尚敏宛 | 高島鞆之助 | 大迫尚敏 | 〔明治〕10年1月8日消印 | 数量 1枚 記述法 墨書 | あり |
| 6-12 | 高島鞆之助封筒 大迫尚敏宛 | 高島鞆之助 | 大迫尚敏 | 5年1月9日 | 数量 1枚 記述法 墨書 | あり |
| 6-13 | 高島鞆之助書簡 大迫尚敏宛 | 鞆之助[高島鞆之助] | 尚敏 | 21日 | 数量 1通 記述法 墨書 | あり |
| 7 | 卷子本 松方公爵、川上大将、山沢中将書簡 | | | | 数量 1巻 合綴注記 7-1～6はこの中にあり | あり |
| 7-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |

大迫尚敏関係文書目録

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|------|--------------------|------|------|--------------|---|----|
| 7-1 | 〔松方正義書簡〕 | 松方正義 | 大迫尚敏 | 4月24日 | 数量 1通 内容 貴地参上の節は御懇情多謝、4月20日恙なく帰京す 記述法 墨書 | あり |
| 7-2 | 〔松方正義書簡〕 | 松方正義 | 大迫尚敏 | 〔大正6年〕2月16日 | 数量 1通 内容 伊地知〔幸助〕中將の件遺憾千万、取調等御配慮を謝す 記述法 墨書 | あり |
| 7-3 | 〔松方正義書簡〕 | 松方正義 | 大迫尚敏 | 8月12日 | 数量 1通 内容 拙老も湯治中、宇都宮大將も入湯中なるも近日帰京の筈、大將より拙老近情御聞取あれ 記述法 墨書 | あり |
| 7-4 | 〔川上操六書簡〕 | 川上操六 | 大迫尚敏 | 〔明治〕10月30日 | 数量 1通 内容 此度の新陳交代の件、小林跡目は前田中尉と決定、野辺中佐の件は未定 記述法 墨書 | あり |
| 7-5 | 〔川上操六書簡〕 | 川上操六 | 大迫尚敏 | 〔明治25年〕1月15日 | 数量 1通 内容 益満云々は老先生方の心配により一段落、他の人事は参謀旅行より帰京の後に詳報すべし 記述法 墨書 | あり |
| 7-6 | 〔山沢静吾書簡〕 | 山沢静吾 | 大迫尚敏 | 〔明治25年〕1月15日 | 数量 1通 内容 断然たる解散は至当の措置、内閣員の一致合体を肝要とす、腰拔頭出は反対者を益するのみ、戊辰の再役の覚悟を要す。小沢免官問題に不平連動く、西氏上京の際は御取遣あらんも、来月上旬有地参謀長上京、耳新しき別説もあるべし 記述法 墨書 | あり |
| 8 | 卷子本 大迫中將、福島少將往復書簡綴 | | | | 数量 1巻 合綴注記 8-1～3はこの中にあり | あり |
| 8-0 | 〔表紙〕 | | | | | あり |
| 8-1 | 〔大迫尚敏書簡〕 | 大迫尚敏 | 福島安正 | 〔明治34年〕2月26日 | 数量 1通 内容 北清事変列国談判涉々敷からず、四ヶ聯隊編成終り軍旗授与、点睛を得たり。酷寒の地に後日の応用の為尽力中 記述法 墨書 | あり |
| 8-2 | 〔福島安正書簡〕 | 福島安正 | 大迫尚敏 | 〔明治33年〕6月2日 | 数量 1通 内容 杜国戦争は慨嘆の至り、小国寡兵を以て無比の大国を九ヶ月支ふ、独立を失ふも万世に光輝を添へん。義和団は草賊に均しく大事為すべからず。韓国の安・権二人絞罪片付かず、権の野心より起りしも亡命客に不利益をもたらす 記述法 墨書 | あり |

大迫尚敏関係文書目録

| 資料番号 | タイトル | 作成者 | 宛先 | 年月日 | 内容・備考等 | 画像 |
|------|------------------|---------------------|------|---------------|--|----|
| 8-3 | 〔福島安正書簡〕 | 福島安正 | 大迫尚敏 | 〔明治36年〕10月21日 | 数量 1通 内容 児玉奮発して新次長となる、内外に対して威信を保つ。書中の件は新次長に申し継ぐ、其内確答あらん 記述法 墨書 | あり |
| 9 | 皇太子殿下初等科御卒業記念写真帖 | 学習院〔発行〕・壇上新吉（佐藤写真館） | | 大正3年 | 数量 1冊 | あり |

2020年追加公開分

| | | | | | | |
|----|-------------------------|---------|--|---------|---|----|
| 10 | 〔アルバム〕第七師団旅順二零三高地攻略戦場写真 | 大迫尚一〔誌〕 | | 昭和42年8月 | 数量 1冊 記述法 写真・ペン 備考 一部写真剥離のため取扱注意。 | あり |
|----|-------------------------|---------|--|---------|---|----|